

かさま 社協だより

No.22



編集・発行 2013.12.24

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会 笠間市美原3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp URL http://www.kasama-syakyo.jp/



大原支部の三世代交流（紙ブローチづくり）

撮影 横堀

も く じ

- ① 茨城県社会福祉大会から 2
- ② 支部だより 3～4
- ③ サロン事業助成について 5
- ④ ボランティアセンターだより 6～7
- ⑤ お知らせ 8



この広報誌は共同募金の配分金を受けています。

第63回茨城県社会福祉大会

市内のボランティア25団体と 個人55人が表彰される

10月31日、県民文化センターで、第63回茨城県社会福祉大会が開催され、オープニングアトラクション、記念講演の後、式典があり、県内各地から推薦された功労者の顕彰が行われました。

本市関係者を紹介します。

(敬称略)

茨城県知事表彰

民生委員・児童委員

木村 晴代 田中 緑子
菅谷 信子 海老沢まさ子
藤枝 征宜 入江 通弘
大関 永子 根本 脩司
稲田 實 桑島 裕子
村上 一郎 鈴木 しん
上野 昭子 井坂フヂエ
栗原 朗 北野 やい
藤枝 幸子 持丸 行子

社会福祉施設職員

森田 敏子 かまぐりーんハウス
山口千代子 めぐみ保育園
池田よねこ

社会福祉団体関係者

常井 鞠代 市社協評議員
久保田満子 市社協副会長

社会福祉援助功労者

平山 正 心配ごと相談員
甲斐 邦子 ボランティア
あたご手話

あさほう ボランティア

秋桜

さしほ

なごみの会

終

ひめはる

みかげ

よつば

手話サークルさしほ

むぎぶえの会

手づくり会

あかざ会

友・愛わだちの会

友部ふれあい電話

こだま

社協デイサービス

配食なのはな

ふとん乾燥サービス

配食みちくさ

社会福祉自立更生者

目黒美智子

野村 寛



受賞を受ける目黒美智子さん

茨城県社会福祉協議会会長表彰

民生委員・児童委員

鈴木 忠夫 仲田 正
稲川 悦子 海老沢 勉
加賀屋勇次 遠藤 健次
藤田 嘉昭 上野 洋
塩崎 祥江 菊池美智子
海老沢淳子 佐藤 肇
小菅 君枝 南指原淑子
岡野 博之 岡野トク子
宮本やす子 川崎 史子

社会福祉協議会職員

岡野 利江 島田 順子
海老沢清美 吉成 和美

社会福祉施設職員

小室 章子 豊ハイツセンター
高徳 直美
佐藤 友子
松本かおり
鈴木 有美 大沢保育園
菊島 陽子 みか保育園
小林 直美 かまぐりーんハウス
山口 良子

ボランティア

いずみ
そよ風
マジック遊友
傾聴すずらん
要約筆記「若葉」
レクリエーションいわま
心配ごと相談員
深谷 忠 久保田運平
自立更生者
上田 勝雄 内藤 輝近
椎名貴美子



左足3本の指で字を書いたり食事をする有美さん

記念講演 講師 佐野有美さん

演題「あきらめない心」

—私の役割は、皆さんを笑顔にすること—

「先天性四肢欠損症」という、手足がほとんどない障害をかかえて生まれた佐野さん。「わたしの役割は、みなさんを笑顔にすること」と語る講演の一部を紹介いたします。

今日私は新幹線と電車で愛知県から来ました。現在23歳、今までは友達や親などの手助けがあったが、一人で行動すること色々なことを学びました。食事をするとき字を書くこと、これは、左足の3本の指でできます。

私は、小中高校と二般学校で過ごしました。社会性を身につけさせたいと教育委員会や校長先生に両親が働きかけてくれたからです。その結果、こうして活発に活動できます。小学生の頃、水泳にチャレンジして、一人で百m泳げました。母も回りの人も反対でしたが、父は「やってみないと分からないから」と言っ

佐野有美(あみ)さんプロフィール

1990年4月6日生まれ。愛知県出身。先天性四肢欠損症で生まれ、あるのは短い左足と3本の指のみ。高校在学中、チアリーディング部に所属し地元マスコミで話題となる。高校卒業後はラジオパーソナリティーのアシスタントなどを経験しながら、声優・タレントを目指す。2011年6月、自らの詩集『あきらめないで』が曲になりCDを発売。同年の「第53回輝く!日本レコード大賞」の企画賞を受賞。現在、講演活動をはじめ、様々なメディアで活躍中。

くれました。クロールや平泳ぎをやれと言われても出来ないが、自分が出来る方法を考えることで泳げました。「ありがとう」「笑顔」「支えあい」「絆」この言葉はすべてつながっています。一歩踏み出す勇気を得ることが出来ます。私自身、今の活動によって感じるの、人と人との出会いです。皆さんから成長させていただいているなど感謝しています。色々なことに刺激を受けて吸収していつて学んでいきたいと思っています。皆さんに出会えたことに、本当に感謝の気持ちでいっぱい。これからも、今まで出会った人、今出会う人、これから出会う人、たくさんの方々に感謝して、あきらめない心を持って歩き続けていきたいと思っています。(藤森)

大原支部(友部地区)

第21回

三世代ふれあいの集い

―笑顔と歓声がいっぱい―

社協大原支部主催、大原小学校共催による「三世代ふれあいの集い」が、11月1日(金)に大原小学校校舎・体育館、校庭を使い元気いっぱい開催されました。

支部のテーマである「人とのつながりを大事に地域交流づくり」のもと、指導は地域のおじいさん、おばあさん52人、保護者の協力により実施されました。

副市長は「11月は教育月間であり、11月1日は教育の日である。教育月間の4つのテーマのうち地域に開かれた学校づくりがある。大原小学校



ベーゴマひもまきに悪戦苦闘

を核とする地域のつながりづくりに協力ください」との挨拶がありました。

全校児童を縦割りにし12班に分れ、12種目の遊びと体験をしました。



竹馬に挑戦

縄もじりでは、小さな手から縄がはみ出しながらもがんばって、自分の背丈位までもじった子どもがいました。その隣では「わらじ」作りに挑戦している人もいました。

竹馬では、バランスをとるのが難しく、おじいさんや上級生の手を借り一歩一歩ゆっくりゆつくり歩いていました。そして、自分の力で一歩踏み出せた時は満面の笑みを浮か

べていました。
畳の教室では、正座をしての茶道。足を崩すことなくお茶をいただいていたいました。

お手玉、けん玉、おぼしき、あやとり、ベーゴマ、コマ回し、凧づくり、グラウンドゴルフ、輪投げ、紙ひこうき、紙プローチづくりなどそれぞれの活動にチャレンジしていました。

それぞれの遊びの道具は、私にとって遠い昔を思い出させるものばかりで、昔覚えたお手玉の腕は鈍っていたいなかったようでした。

最後に「もみじ」の合唱で集いは終わりました。
それぞれの活動を通して、伝える喜び受け止める楽しさを感じることができたのではないのでしょうか。(塙)



畳の部屋で茶の湯教室

安居東部(岩間地区)

少子化・高齢化の進む純農村地区で、みんなで明るく生きるには？

運営委員長 大川 健

私達の地区は、愛宕山より東へ10キロばかり離れたところで岩間地区のはずれに位置しています。隣はもう茨城町です。そして、

潤沼川沿いには田園が広がっていて、栗畑なども沢山あります。そのような純農村地帯で約50世帯が暮らしています。

しかし、ここもおなじみ後継者不足は例外ではなく高齢化が悩みです。田植えや稲刈りがままなりません。敬老会の対象者が30人を越えてしまいました。そんなわけで高齢者になっても畑仕事で毎日が忙しく、とてもゲートボールやクローケーなどを

楽しむ余裕がないというのが現状です。そのような中でも、地区公民館でのシルバートレーニングは好評です。夏場を除き月に1〜2回実施しています。



おしゃべりサロンは、健康チェックから～

当然のことながら子どもの数は年々減少してしまい、夏休みには子ども達が楽しみにしている安古神社神事の祇園祭り子供神輿は、担ぎ手である中学生が不足してしまいました。保護者が補助しながら地区の伝統行事を絶やさないよう頑張っています。
地区社協として、これから何をすべきか、何が出来るのか、発足して7ヵ月、これらの検討課題です。
秋には、地区唯一の娯楽スポーツである班対抗バレーボール大会が行われました。これを地区社協協賛行事として、今後も継続してまいります。

大旭支部(友部地区)

よき遊びよき遊んで豊かな心

友二小ふれあいクラブ



このクラブは平成18年に創設されて、今年で8年目になります。

クラブを作った目的は「学校休日の活用として、保護者とボランティアと一緒に『子どもの居場所づくり』を考える」とうたっています。

10月26日に、友部社会福祉会館に行って活動状況取材する機会を得ました。今回は、本の中の「ばらの谷」という物語を題材にした、紙芝居の制作が中心に行われていました。紙芝居といっても、普通の大きさのものより大きく、制作に当たっては、それぞれ役割を分担し、相談し合いながら楽しい雰囲気の中で、作業が進められていました。この紙芝居は、来年3月に社協のデイサービスの時に、高齢者の方々に披露する予定だそうです。

紙芝居の他にも、茶道・吹



製作に熱中している子どもたち

き矢・餅つき・こま・けん玉など、全部で8種類ほどの遊びを年間計画表に取り入れて実施しています。

こんにち、子ども達が学校を離れて日常生活を送る中、このようなクラブ活動を通じて、良く学び良く遊んで豊かな心を育んでいく事は、大切な事だと思いました。(調)

平成25年度予定表

場 所

友部社会福祉会館

開催日

毎月第4土曜日

時 間

9時30分～11時30分

協力ボランティア10人

代表者 平倉孝裕

月	内 容
5	保護者の方と打ち合わせ 楽しい吹き矢 バルーンアート
6	群読(ばらの谷) 楽しい吹き矢 楽しい工作(折り紙)
7	群読(ばらの谷) 楽しい吹き矢 紙芝居作り(ばらの谷)①
8	群読(ばらの谷) シャボン玉作り
10	群読(ばらの谷) 楽しい吹き矢 紙芝居作り(ばらの谷)②
11	群読(ばらの谷) 楽しい吹き矢 楽しい工作
12	群読(ばらの谷) 餅つき 楽しい吹き矢大会(賞品つき)
1	群読(ばらの谷) 楽しい工作 竹を使って小鳥笛など
2	群読(ばらの谷) 楽しい吹き矢 季節の茶の湯
3	デイサービスを訪問(自作の紙芝居を高齢者の方に披露お別れ会・吹き矢大会、お茶とケーキでおしゃべり)

下市毛支部(笠間地区)

敬老会を実施して

— 深まった地域の絆 —

支部長 三村 拓次郎

「敬老の日」の16日は、台風18号が本県をかすめるように通過し、強風が各地を襲い、当地区も前日から雨脚が強まり、敬老会の開催が危ぶまれたが、無事に開催することが出来ました。

実行委員の皆様方は前日の午後から会場になる下市毛公民館に集まりました。

女性の方は、手作り料理の仕込みに主婦パワーを全開して、敬老者の皆様に美味しくそして楽しく召し上がっていただく為に心をこめて準備をしました。

また、男性の方は会場の設営に取り組んでいただきました。こうして、準備万端前日の作業が終了し、敬老会を迎えることができました。

16当日は午前6時から、小雨降る中男性は薪釜で赤飯を作り、女性の方は煮物・キンピラ・サラダ・つけもの等を作って10時までに準備が完了しました。

悪天候の中をお越しいただ



どれもおいしいね～

く敬老会を実行委員の皆様で出迎え、定刻11時からの式典を無事迎えることが出来ました。

式典では、来賓として山口市長にお越しいただき、祝辞を頂戴したのち米寿を迎えられた方々に市長から祝状が渡されました。

式典後懇親会に移り、実行委員の方々が心をこめて準備した手作り料理等を、敬老者の皆さんに大変喜んで食べていただきました。

最後に「来年も元気でお待ちしております」と言葉をかけ、楽しいひと時を過ごした会場を後にお帰りいただきました。

サロン事業を募集します

身近な場所で楽しく仲間づくり

笠間市社会福祉協議会

社会福祉協議会ではだれもが安心して暮らせる地域づくりを目指して、支部・地区社協づくりを推進しています。

笠間・岩間地区のうち、まだ支部・地区社協が設立されていない地区を対象に、サロン(集いの場)づくり支援事業を始めました。サロン活動から支部・地区社協活動につなげていただきたいの思いがあります。

現在、この趣旨をご理解いただき、2か所のサロンが立



みなさんが集まる吉岡住宅区公民館

ち上がりしました。そのうちの

「吉岡住宅区サロンコスモス」を訪問してきましたので、ご紹介いたします。

サロンは毎月第3・4曜日、地区の公民館を会場に活動しています。

活動内容は、その時に自分たちがやりたいレクリエーションや体操などを行い、参加者の交流をはかっています。

吉岡住宅区では高齢化が進んでいて、参加者のほとんどが配偶者を亡くされ、ひとり暮らしだそうです。サロンができていなかった頃は、近所に住んでいても数日会わないこともあり、寂しく感じることも多かったそうです。サロンができたことで定期的に集まるようになり、日頃の出来事や悩みを話しながら、地域の皆さんとふれあう楽しさができたようです。

伺った時は、体操をしたり広告紙を材料にゴミ箱づくり



おしゃべりしながらゴミ箱づくり

をして、皆さん笑顔にあふれ、とても楽しそうでした。

年齢、性別関係なく集える場がサロンです。サロンが地域の人の交流する場となり、よりよい地域活動につながってほしいなと思いました。

東日本大震災から地域のつながりが見直されています。自分たちの地域は自分たちの力で、あたたかく安心できる地域にしていきたいのだと、皆さんの笑顔を見て改めて感じました。

これから、支部・地区社協づくりを考えている地域の方は、どうぞこの事業を活用していただきたいと思います。

●助成内容

サロン開設に必要な物品購入経費及び運営費

・初年度30,000円以内
・2年目以降15,000円
《申請時期により金額の変動あり》

●活動内容

子育て支援、障がい者との交流、高齢者の健康・元気づくり、世代間交流など

●活動場所

集まりやすい身近な公共施設や個人宅等(概ね歩いて片道10分以内の場所)

●対象地域

支部(地区)社協が設置されていない地域であること。(友部地区は、対象となりません)

●実施回数

月1回以上、定期的に開催するもの

●参加人数

参加人員(利用者が5人以上見込めること)

※随時受け付けております。

◆問い合わせ先

笠間市社会福祉協議会

笠間支所

TEL 0296(73)0084

岩間支所

TEL 0299(45)7889

サロン(集いの場)支援事業助成内容

ちょっといひ話

いつまでも
元気で生き
るために

”年をとって
も元気で前向
きに生きてい
きたい” 高齢

化社会が進む中、いかに生活の質を高め、健康に生きるかは現代人のテーマになっています。

その答えともなる長寿の秘訣は、食事、運動、生きがいの3点。なかでも最も重要な要素は食事です。食事摂取基準のエネルギー量を参考に腹七分八分目をめざし、魚・穀物・野菜・果物を多く摂り、肉や動物性脂肪は少なくなるように心がける「カロリー制限食」が糖尿病の予防などの観点からおすすめです。

また、運動で血流を良くするために普段より1000歩多い生活を実践すること大切です。

そしてもうひとつ、生きるエネルギー源となるのが生きがいです。たとえ何歳になろうと知的好奇心を満たそうとする意欲を持ち、目的に挑戦し続ける姿勢こそが長寿につながるのです。(関)

センターだより

くりを目指して

9月4日「第一火曜日の会」では猿島郡境町で読み聞かせ活動を長年継続しているボランティアサークル「すばる」を迎え、講演会を行いました。会場は35人の参加者とすばるのメンバーが一体となりました。また、今年の福祉バザーは友部・岩間・笠間がそれぞれの地内で参加しました。

10月27日 みどりの広場
「ふるさとまつりinかさま」

11月4日 岩間保健センター
「岩間の公民館まつり」

11月16・17日 笠間芸術の森公園
「JAふれあい祭り」

朗読ボランティア講演会

9/4 第1火曜日の会



サークルすばるは、昭和61年境町社会福祉協議会の朗読講座開催をきっかけにサークルが生まれました。

境町の広報紙を朗読したりテープに録音・配布する活動から始まり、2年後の63年からは老人ホームで朗読活動を開始しました。

また75歳になった町の敬老祝対象者に、生まれた年の出来ごとや75年間の歩みなどをまとめたテープの郵送も行ない、今年度は300人に配布したとのことです。

テープづくりから始めた活動はその後、小学校での読み聞かせをはじめ、現在は境町全5校の小学校で毎月一回、朝の読書の時間に朗読活動をする一方、特別支援学校とも連携し、テープ・CDによる



なごやかな雰囲気なかで

「声のたより」や「お話のくりもの」、保護者を交えた読み聞かせ等もしてきました。読み聞かせ活動を継続するうえでは、もっと工夫が必要とパネルシアターへの挑戦を考え、24年度県社協の助成金を受け道具を購入、活動の輪も一層広がったことを話してくれました。

現在、会員は30〜70代の男女24人、ボランティアの読みとった感動をそのまま伝えることを基本に活動しているとのこと。助成金を自ら申請しより厚味のある活動をめざしているサークルだけあって、当日発表してくれた5人の皆さんの熱意を肌で感じ、学ぶことが多い講演会でした。

講演を聞いて

(出席者35人 回答24人)

◆アンケートから

- 活動の場がたくさんあり、色々な引き出しを持っていて羨ましく思いました。
- 行動力と意欲に感服しました。自分達の活動のヒントとなるところが多々ありました。
- はつきりした話し方、わかり易い説明、パネルシアターや紙しばいでの話は上手でびっくりしました。
- 定期的に勉強会をしたり、練習を積み重ねていることが、活動を継続しているものだと思います。
- 発表の場で、話し方を気にしないのでその人その人のうけとめ方の朗読をOKとするやり方はすばらしいと思いました。
- 今回のような実際の活動を見たり、聞いたりするなど、情報交換が大切だと思えた。
- すばるとの交流会(意見情報交換)を行いたかった。
- なお、この講演のあとボランティアサークル「ハイベスカス」に加入し、活動をはじめた方もいます。

赤い羽根
共同募金

『第一火曜日の会』これからの予定

H26年

2/4(火)

折り紙で「おひな様」づくり

10:00~12:00

岩間ボランティアセンター

3/4(火)

英字新聞を使って「エコペーパークラフト」

10:00~11:30

友部社会福祉会館2階研修室

申し込み問い合わせ

笠間市社会福祉協議会ボランティアセンター TEL. 0296-78-2626

詳しくは広報かさま お知らせ板をご覧ください。



秋晴れに恵まれたバザー会場(芸術の森公園)

ボランティア

住みよいまちづ

三支部

笠間支部
友部支部
岩間支部

盛りあがった福祉バザー

みんなで支え合った
初めての福祉バザー

笠間支部会長
松橋 慶子

笠間支部
11/16・17

ボランティア連絡協議会笠間支部では、自分達の活動資金を得るため福祉バザーを実施する事を運営委員会で決定し、不安を抱えながらも準備に入りました。

品物は会員を通して市民の皆様、衣類・陶器・日用雑貨などご協力いただきました。初めての事業なので事前に友部のボランティアセンターで値付けなどを勉強させていただきました。提供していただいた方の気持ちを考えての値付けは、やはり一番難しい作業でした。

値付けの日は、寒空にテントを張り地面にシートを敷いて値付けをし、昼食に自分達で作ったおにぎりやインスタントみそ汁のおいしかったことはい経験でした。

バザー当日は秋晴れに恵まれ、それぞれの売場で販売し



寒さにも負けないボランティア

やすいように品物を並べ、開店の合図でスタートしました。お客様が続々とつめかけ、接客している会員が楽しそうに会話をしながら販売している姿が印象的でした。

幸い、開催場所も集客にもJAの大変なご協力で実現できましたので、私なりに大成功だと感じております。そしてボランティア会員の皆様から感謝したいと思います。

反省材料は各々ありますが、来年に向けてまた皆さんと協議したいと思っています。そして福祉バザーの実施を通して感じたことは、一つの事業を皆んなで支え合いながら活動できた達成感が素晴らしいと思いました。

皆様のご協力に感謝!!

福祉バザー売上金

10/27	友部支部	722,216円
11/4	岩間支部	287,098円
11/16・17	笠間支部	231,665円

※益金は地域福祉活動費として活用させていただきます。

ボランティアセンターから

講演会案内

講座案内

とき 平成26年2月2日(日) 13:00~16:00

ところ 笠間市社会福祉会館 2階研修室

『耳の不自由な人の生活を知ろう』

一音を見たことありますか? 講師 松森 果林さん

プロフィール 1975年東京都生まれ。小学4年生から高校にかけて聴力を失う。子育てのかたわら執筆活動やユニバーサルデザインの開発など聴覚障害の立場から多彩な活動をしている。

『子育てママの応援講座』入園・入学用の袋ものづくり

とき 平成26年 2月24日(月) 10:00~12:00(手さげ袋)

3月1日(土) 10:00~12:00(上ばき入れ)

ところ 笠間市社会福祉会館 2階研修室 問い合わせ 78-2626

岩間地区

ボランティア募集

配送ボランティア

配食サービス(70歳以上のひとり暮らし高齢者)を利用している皆さんの自宅に、手作りのお弁当を届ける活動です。日頃、一人で過す時間の多い皆さんは、ボランティアが直接お弁当を手渡しすることで会話をし、こころのふれあいや安否確認にもつながります。

地域を支えるボランティア活動にぜひ参加してみませんか。

活動日 毎週月曜日

活動場所 午前9時30分~12時30分
福祉センターいわま
(愛宕山の中腹)

福祉センター「いわま」

毎週木曜日に一般開放して昼食時に手打ちそばを提供しています。

活動内容は、調理補助や配膳・後片付け等です。

活動に参加しながら仲間づくりやコミュニケーションの場を広げてみませんか。

活動日 毎週木曜日

活動場所 午前10時~午後2時
福祉センターいわま
(愛宕山の中腹)

◆問い合わせ先

笠間市社協岩間支所

TEL 0299(45)7889

善意の寄附を「ありがとう!!!」(善意銀行預託)

平成25年7月1日～平成25年10月31日まで(順不同・敬称略)

物 品

使用済み切手多数	稲田小学校、笠間製菓、 笠間郵便局、株式会社溶接工業所、 南清水工務店、飯田 清一
エコキャップ	イチカワユニオン岩間支部、 岩間第一小学校児童クラブ、 株式会社間商事、すみれ幼稚園、 高齢者クラブ旭台睦会、くるす保育所、 泰栄電器株式会社、南友部会、旭商事、 てらざき保育所、さくら幼稚園、 いわま保育園、池野辺子供会、 森田屋 入江勇太、レイス治療院、 こじか幼稚園、県立中央病院、 船橋 成子、福井 ふみ、山中 としい、 塩畑 孝子、青木 よし、
エコキャップ多数、ブルタブ多数	株式会社伊藤石材工業、友部小学校児童会、 柏井野球クラブ、サンエツ工業株式会社、 愛の里、おしの保育園
ブルタブ多数	ボブクラブの会、額田 義文
エコキャップ、使用済み切手	笠間公民館、ナブコシステム株式会社茨城支店
使用済み切手60枚	飯田 清一
エコキャップ、ブルタブ、使用済み切手多数	とも保育園、川井 宣子
エコキャップ、使用済み切手、古切手多数	めぐみ保育園
使用済み切手6,300枚、はがき30枚、テレホンカード1枚	笠間幼稚園PTA
バザー用品多数	コロナの会、手芸愛好会
タオル	茨城県退職公務員連盟笠間支部友部分会 茨城県退職公務員連盟笠間支部岩間分会
スリッパ多数	河村接骨院
おしぼり36枚	深作 志奈
雑巾55枚	大沢下長生会

アルミ鍋1式	長谷川 征子
陶器多数	田村 恵美子
梅干し、梅酢	関沢 香三
胡瓜多数	酒井 文明
南瓜、茄子、冬瓜多数	小瀬 美恵子
冬瓜多数	川村 節子
根菜類多数	池田 チヨノ
ジャガイモ多数	美留町 文男、田山 てる
日用品、エコキャップ、食料品、エコキャップ、台所用用品、 食品、米(30kg×6袋)、米30kg、紙おむつ多数、 食品多数	匿名

金 銭

大沢下長生会	¥5,859
更生保護女性会友部地区	¥8,000
笠間語り部の会	¥8,000
日本盆栽協会笠間支部	¥3,500
北川根支部女性部	¥5,000
下押辺高砂会	¥2,426
(財)合気会茨城支部道場	¥10,000
笠間市チャリティゴルフ大会実行委員会	¥121,010
コロナの会 手芸愛好会	¥15,000
笠間市あすなろ友の会	¥30,176
中村 晃	¥200,000
(故)野口 貴	¥200,000
宇田 卓司	¥20,000
小菅 勝之	¥300,000
匿名	¥77,351

全国社会福祉大会で表彰



11月15日に日比谷公会堂で全国社会福祉大会が開催され、永年にわたり手をつなぐ育成会役員として障がい者福祉の推進に貢献された石本芳子さんが厚生労働大臣表彰をうけました。おめでとうございます。

今年度も研修会に始まって高年齢者クラブの親善交流会、三世代交流会など、各地域でそれぞれに楽しく充実した活動が出来たと思います。福祉活動に完全にはないと思えます。誰もが自立した生活を目指して、地域の人がお互いに「できる人」が「やれる事」を「やれるだけ」活動することだと思えます。寒さ厳しきおり、体に気をつけて良い年を迎えられることを願っております。(荒川)

編集後記

平成25年度 心配ごと相談所開設日程表

日常の困りごとなど何でも相談してください(無料・秘密保持)

時間: 13:00～16:00 (受付は 15:30 までをお願いします)

場所	笠間支所 (毎週火曜日)	友部支所 (毎週水曜日)	岩間支所 (毎週木曜日)
月	旧笠間保健所	友部社会福祉会館	岩間保健センター
12月	3日・10日・17日	4日・11日・18日	5日・12日・19日
1月	7日・14日・21日・28日	8日・22日・29日	9日・16日・23日・30日
2月	4日・18日・25日	5日・12日・19日・26日	6日・13日・20日・27日
3月	4日・11日・18日・25日	5日・12日・26日	6日・13日・20日・27日

法律相談 ※予約が必要になります。お問い合わせください。

笠間支所	友部支所	岩間支所
第3金曜日 10:00～12:00 (1月のみ第4金曜日)	第1金曜日 10:00～12:00 (1月のみ第2金曜日)	第2金曜日 10:00～12:00 (1月のみ第3金曜日)

お問い合わせ先

社会福祉法人
笠間市社会福祉協議会

友部支所 TEL 0296-77-0730 FAX 0296-78-3933
笠間支所 TEL 0296-73-0084 FAX 0296-72-3722
岩間支所 TEL 0299-45-7889 FAX 0299-45-6250